

## 平成29年度事業計画

### ➤ 自主事業（村尾・近藤・浪越）

1. 子育て情報誌「おやこ DE わはは」
2. わははメール
3. サポーターズ・クラブ
4. ラジオ DE わはは

### ➤ 受託事業（中橋）

【自治体より受託事業】6月現在

1. 高松市 子育て支援総合情報発信事業（継続）  
「子育てハンドブックたかまつらっこ」「らっこネット」  
「ひとり親ハンドブック」「ひとり親ネット」
2. 高松市 中学生と乳幼児のふれあい事業
3. 子育て支援人材養成
4. 働き方改革モデル企業サポート業務
5. 高齢者居場所づくり事業

### ➤ 地域子育て支援拠点事業

- ・わはは・ひろば坂出（三谷）
- ・わはは・ひろば高松（鏡原）
- ・わはは・ひろば香西（郡）
- ・地域子育て支援拠点コーディネーター事業（前田）
- ・指定管理事業「まるっ子ひろば」（さかいで子育て支援センター）
  - ・自主事業（成合）
  - ・「まるっ子ひろば」子育てひろば（金崎）
  - ・「まるっ子ひろば」子育て相談（常田）
  - ・「まるっ子ひろば」一時預かり事業（常田）

➤ 自主事業（媒体・イベント）

1-1, 情報誌『おやこDEわはは』 72～77号 29年度年間企画

	特集	その他	営業
72号 (5/10)	MORi*森あるき SHIMA*島あるき ・森:公洲森林公園 ・島:女木島・男木島 ・森と島のイベント情報	●子育て美容-ekiバトン リレー ●香川きらママ	耳より取材先フォロー営業、企業主導型保育園、住宅
	ママの再就職情報、子どもの写真の撮り方、子育て支援員研修	*投稿写真館 *ひろばにおいて!	習い事特集のフォロー
73号 (7/10)	子どもの食事で困っていること ・気になること みんなどうしてる? ・わははメールアンケート結果 ・アレルギーっ子のママの体験談 ・アレルギー対応食品を買える店	●子育て美容-ekiバトン リレー ●香川きらママ	派遣会社、食品の宅配サービス、アレルギー食品取扱店、写真スタジオ、
	家のおそうじワンランクアップ講座、ママフェス報告	*投稿写真館 *ひろばにおいて!	習い事、住宅、保険
74号 (9/11)	かぞく de 七五三 七五三の謂れ、お参りの仕方/写真撮影・家族写真/家族でのお祝い・食事会 ■取材協力:神社、写真スタジオ 【モニター】体験談と写真	●子育て美容-ekiバトン リレー ●香川きらママ	写真スタジオ、神社、美容室、衣裳、ホテル、住宅建材メーカー
	家庭での防災への備え 情報収集 避難情報受信/家庭での備え ローリングストックのすすめ	*投稿写真館 *ひろばにおいて!	保険、住宅(こしらえの会)
75号 (11/10)	家族のためにも、ママの健康管理 健康診断を受けるなら/がん検診って? /市町の健康診断トピックス(日曜がん検診、若年健康診断など)	●子育て美容-ekiバトン リレー ●香川きらママ	健診をしている病院、写真スタジオ、住宅
	子どもの寝かしつけ	*投稿写真館 *ひろばにおいて!	習い事、保険
76号 (1/10)	子育てしやすいマイホーム わたしの夢「マイホームがほしい!」を実現したママ☆モニターに取材 ◆子どもの成長に影響すること>音、間取り、空気の通り道、立地など	●子育て美容-ekiバトン リレー ●香川きらママ	住宅、建材、設計事務所、食材宅配
	子どもの肌のトラブル	*投稿写真館 *ひろばにおいて!	習い事、保険
77号 (3/9)	はじめての習い事 【ママ☆モニター】習い事をして子どもが成長したこと体験談、体験教室のモニター ◆県内教室情報一覧	●子育て美容-ekiバトン リレー ●香川きらママ	習い事教室、通勤族向けのサービス
	わはは☆ママモニター活動報告	*投稿写真館 *ひろばにおいて!	住宅、保険

## 重点実行項目

### ■わははネットが手掛ける事業とリンクした新コーナー登場

◎子育て美容-eki ➡子育て美容-eki バトンリレー

2015年～2016年認定店舗、約300店(美容室・理容室・鍼灸接骨院・サロンなど)から、1店舗ずつ紹介。読者にとっては、子育てに理解がある、子連れでも行きやすいお店情報となる。

◎ワーク・ライフ・バランス、働き方改革 ➡香川きらママ

ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に積極的な働きやすい職場で、ママとしてもきらきら輝く従業員(ママ)と、雇用主へのインタビュー。

### ■年間のテーマを持って、取材先や協賛企業に働きかける

・1号ずつではなく、年間テーマを提示しながら同時進行することで、早めの情報収集が可能。

### ■わはは☆ママモニターを継続して活用

- ・つながるツールの拡大…月1回のメルマガに加えて、LINE@を運用する。ふだんはメールを開かないモニターにもお知らせが届きやすくなり、返信もしやすくなると思われる。
- ・表紙モデル、特集の体験談、子育ての体験談などで関わりのあったモニターと、連絡を取り合って継続した関係づくり。

## 1-2, 情報誌 営業の重点実施項目

### ■特集テーマと営業先をリンク

- ・新規営業…次々号を見越した声かけを行い、わははネットの周知とお知らせを行う。
- ・定期掲載…タイミングを合わせた早めの声かけ。

### ■SNS等を活用した情報発信

- ・情報誌広告に掲載のイベントや講座情報などを、わははネットHPやFBなどのSNSでも発信。

### ■企業とコラボ型の営業・誌面づくり

- ・わははネット×再就職登録・派遣会社で、ママ座談会を開催、情報誌誌面への展開、企業様サイトへの展開。

## 2, わははメール

- ・ママからコラム毎週更新中
- ・イベント入力 継続中
- ・わははクーポン: 追加を検討

## 3, サポーターズ・クラブ

サポーターズ・クラブ会員に向けた「サポーターズ・クラブ通信」を作成、わははネットの事業内容や活動報告、今後の展開をより身近に届けるツールとして活用予定。発行のタイミングは、2カ月に1度、情報誌発行と同時。

## 4, ラジオ DE わはは

テーマに沿ったママボイスを集め、「今月のママの声」としてラジオで紹介する等、ラジオと他ツールの連動。

➤ 受託事業

事業名	1【高松市委託事業】高松子育て支援総合情報発信事業
事業内容	子育て支援総合情報サイトの管理・「らっこ」改訂増刷作業 10,000部増刷 ひとり親サイトの構築、冊子改訂増刷作業 2,000部増刷
実施予定日時	平成29年4月1日～平成30年3月31日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	高松市内の子育て家庭に向けて
予算額	¥4,000,000

事業名	2【高松市委託事業】中学生と乳幼児のふれあい事業
事業内容	中学生と乳幼児の親子がふれあう中で、中学生がこれからの将来の像を描いたり、自分が生まれてからこれまでを振り返ったりすることができる経験をする。乳幼児の親子は、自分の育児経験を中学生に話すことで役立ち感を感じたり、自分の子育てを客観的にみつめる機会を持つ。
実施予定日時	平成29年5月中旬～平成30年3月31日
実施場所	紫雲中学校、勝賀中学校
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	上記2か所の中学生及び参加親子
予算額	¥320,000

事業名	3【香川县委託事業】子育て支援人材養成事業
事業内容	地域の子育て支援に取り組む人材を養成する研修を実施し、研修を修了した者を「子育て支援員」及び「放課後児童支援員」として認定する。
実施日時	平成29年5月上旬～平成30年3月31日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	3人
受益対象者の範囲及び人数	県内の子育て支援の仕事に関心が持ち、子育て支援分野の各事業等に従事することを希望するもので受講申し込みをする者。
予算額	¥10,191,000

事業名	4【香川县委託事業】働き方改革モデル企業サポート業務
事業内容	働き方改革に取り組む意欲のある県内の企業等（以下、「支援企業」という。）を公募・選定し、コンサルタント等の専門家を派遣し、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組みが効果的に進められ、支援企業の経済活動の発展につなげることができるよう支援するため、以下の業務を行う。
実施予定日時	平成29年6月1日～平成30年2月28日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	香川県内に本社・本店を有し、常時雇用労働者数が300人以下である、働き方改革に取り組む意欲のある県内の企業・法人・団体等
予算額	¥6,400,000

事業名	5【高松市委託事業】高齢者居場所づくり事業（居場所ハンドブック作成）
事業内容	居場所ハンドブックを2種類作成する。 A：各居場所での先進的な取り組み等を紹介することにより居場所の運営の参考となるよう工夫された企画・編集のハンドブックを作成する。（A4版フルカラー500部製作） B：子育て関連事項（高齢者の子育てへの関わり方・子育ての昔と今の違い・世代間交流等）を掲載することによって、居場所の参加者（高齢者や子どもたち）がハンドブックを見ながら一緒に居場所で遊んだり過ごしたりすることのできる情報が掲載されたハンドブックを作成する。（A4版フルカラー10,000部製作）
実施予定日時	平成29年5月1日～平成29年10月31日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	高松市内の子育て家庭に向けて
予算額	¥4,000,000

事業名	5【子育てひろば全国連絡協議会】全国セミナー高知開催 現地事務局
事業内容	子育てひろば全国連絡協議会が主催する、高知開催のセミナーの現地事務局業務を行う。
実施予定日時	平成29年5月1日～平成29年10月31日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	全国セミナー参加者
予算額	¥1,267,500

## 地域子育て支援拠点事業

【わはは・ひろば坂出】

目標：もう一步前へ ～坂出ひろば2.0～

### ◎事業計画

- ◆情報提供…利用者が楽しめる情報を提供。
  - ・ひろば内掲示版を活用し、イベントの様子を写真付きで掲示する。
  - ・利用者参加型の掲示版をつくる。
  - ・商店街に面した場所に掲示版を設置、その時々ひろばの様子やイベントの紹介。地域の人、ひろばに来たことがない人にも中の様子を知ってもらえる工夫をする。
  - ・HP 更新の継続やFacebook の活用など、SNS を活かしての情報提供にも力を入れる。
  - ・前ひろばにひろばの紹介ポスターを掲示し、ひろばを知ってもらう。
- ◆スタッフのかかわり…スタッフのチームワークの構築。
  - ・スタッフ皆で考えるために意見を出し合い、チームワークを高めていく。
  - ・スタッフ間で丁寧な振り返り・ミーティングを行うことで、利用者の理解へつなげていく。
- ◆イベント…ひろばに来たいと思う新しいイベント開催。
  - ・建物の機能を活かしたイベントや、初めての人もひろばに行きたいと思えるイベントを開催し、ひろばに来るきっかけを作る。
  - ・イベントを通して子どもを見合う経験を積むことで、利用者同士がかかわり支え合う関係を作る。また、こどもが親以外の人とかかわる機会を作る。
- ◆地域連携…利用者と地域をつなぐ。
  - ・利用者と高齢者、地域との交流の機会を作り多世代交流を図り、地域にとって開かれたひろばを目指す。
  - ・地域のイベントに積極的に出向いたり、商店街を活用することで地域に根付いた活動を行う。

① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お誕生日会 月1回 / 計12回</li> <li>・赤ちゃんひろば 月2回 / 計24回</li> <li>・ツインズデー 月1回 / 計12回</li> <li>・わんぱくひろば 月1回 / 計12回</li> </ul> <p>ひろば開館中は、親子が孤立しないようにスタッフが十分配慮し、自由に交流ができるようにする。同じ月齢の子どもを持つ親同士や多胎児の親同士が出会える場を作り、より交流が進むきっかけづくりをしていく。異年齢交流や父親の交流ができるよう、土曜日(月1回程度)開館する。</p>
② 子育て等に関する相談・援助の実施	<p>スタッフと一緒に子育てを考え、見守る姿勢を前提に、情報提供や必要であれば専門機関を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師相談 ・子どもの不思議?!Q&amp;A (臨床発達心理士参加)</li> <li>・保健師さんと座談会</li> <li>・地域子育て支援コーディネーターによる情報提供と個別相談を実施</li> </ul>
③ 地域の子育て関連情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろばに情報コーナーを設置し、市役所・図書館など地域から得た子育て情報をいつでも見られるように整理・配置しておく。</li> <li>・子育てに関する新聞記事や講座などの資料を掲示している。</li> <li>・商店街マップを作製し掲示している。</li> <li>・ロコミ掲示板を設置し、利用者相互の情報交換が図れるように管理。</li> <li>・サークル、子育て支援拠点などの情報をわかりやすく整理する。</li> <li>・わははひろば専用ホームページの運営。その他、本体 NPO で収集した情報を携帯メール、インターネット、Facebook、情報誌等で提供。</li> </ul>
④ 子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急講座、子どもの不思議?!Q&amp;A、わらべうたあそびの講座、防災講座、おやつについての講座、おもちゃ講座、工作あそび、ふれあい遊び・絵本読み聞かせ(毎日)他</li> <li>・ツインズデーや赤ちゃんひろばなど、同じ立場や同年代の人が集まれる機会を設け子育ての悩み軽減や同じ立場同世代の子どもを持つ人と交流できるようにする。</li> </ul>

【わはは・ひろば高松】

目標：ひろばが地域となるために

◎事業計画

◆情報提供…iPad・情報ファイルの活用

- ・iPadに地図アプリを入れ、地域の情報をより正確に分かりやすく提供する。
- ・ひろばの掲示板に口コミコーナーを作り、利用者主体で子育て・地域の情報交換ができるようにする。
- ・スタッフが地域を知り、情報提供につなげる。

◆スタッフの関わり…利用者同士で支え合える関係づくりを行う。

- ・ひろばで子育てを助け合える横のつながりがきるように、普段から意識をした関わりを行う。

◆イベント…つながりができるような会の開催。

- ・転勤族の会を年2回開催。テーマを設けず自由に話ができるような座談会の実施。
- ・近くの公園におたすけさんと一緒に出掛ける。(年2回)

◆地域とのつながり…スタッフが地域に出向きひろばを知ってもらう。

- ・近くのお店に通信・パンフレットを置いてもらうことでひろばの事を知ってもらうきっかけにする。
- ・商店街でイベントを行う。

◆利用者の力…お助けボランティアの活動を支援し、自身の楽しみ、役立ち感、につなげる。

- ・育児グッズなど「リサイクルの日」の開催(年4回)
- ・役立ち感を感じられるように、おたすけさんに利用者の感想等をフィードバックする。
- ・お助けミーティングを行い、活発に意見交換し実施できるように促す。

<p>① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日会：月1回/12回</li> <li>・プレママ&amp;ねんねちゃんの会：月1回/12回</li> <li>・ツインズデー：月1回/12回</li> <li>・先輩ママ主催の工作・お出かけイベント(4回/年)</li> <li>・年度生まれの会/月2回</li> <li>・土曜ひろば 月1回/計12回</li> </ul> <p>ひろば開館中は、親子が孤立しないようにスタッフが十分配慮し、自由に交流ができるようにしている。同じ月齢の子どもを持つ親同士や多胎児の親同士が出会える場を作り、より交流が進むきっかけづくりを行っている。安心して出産、育児ができるようプレママと先輩ママの交流も定期的で開催。</p> <p>休日に開館日を設け、父親も参加しやすいイベントを休日に開催予定。</p>
<p>② 子育て等に関する相談・援助の実施</p>	<p>ひろば内で相談、またはスタッフと個人で相談ができるように個別の部屋・時間の選択ができるようにしている。</p> <p>スタッフは一緒に子育てを考え、見守る姿勢を前提に、情報提供や必要であれば専門機関を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレママ&amp;赤ちゃんひろば</li> <li>・子育て座談会(臨床発達心理士参加)</li> <li>・コーディネーターによる幼稚園・保育所情報会(1回/月程度)</li> </ul> <p>【連携機関】こだま学園・保健センター・</p>
<p>③ 地域の子育て関連情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろばに情報コーナーを設置し、行政からの情報のチラシ、コミュニティセンター等で集めた子育て情報を提供。</li> <li>・最新の幼稚園、保育所、遊び場などを分かりやすくファイルに整理。</li> <li>・子育てに関する新聞記事や講座などの資料を掲示している。</li> <li>・クチコミ情報交換ノートを作り、自由に子育て情報を交換できるように管理。</li> <li>・わははひろば専用サイトの運営。その他、本体NPOで収集した情報を携帯メール、インターネット、情報誌等で提供。</li> <li>・最新の情報を収集できるように、ひろばにiPadを設置。</li> <li>・利用者からの情報提供を募る。</li> </ul>
<p>④ 子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児のための救命講習(2回/年)、子育て座談会(5回/年)・わらべうたあそびの講座(3回/年) 防災講座(2回/年)、ファミサポ登録会(2回/年)、おもちゃの話(1回/年)、</li> <li>・工作あそび、手あそび、絵本の読み聞かせ(随時) ツインズデーやプレママ&amp;赤ちゃんひろばなど、同じ立場や同年代の人が集まれる機会を設けている。</li> </ul>

『目標』 もう一步前へ～ひろばから地域へ、利用者と共に地域づくり～

◎事業計画

- ◆情報提供…積極的に地域に出向き地域情報を収集し、様々な方法で利用者が活用できるようにする。
  - ・拠点周辺地域の子育て支援情報（イベント情報、園庭開放など）を利用者と共に集める。
  - ・利用者のニーズに沿った最新の情報を得られるよう iPad や情報ファイルを整理する。
  - ・集めた地域情報と利用者から提供された情報を合わせ、地域マップを作成し iPad と連動し利用者同士の日常の交流の中で活用できるようにする。
- ◆スタッフのかかわり…親子が安心してひろばを利用しながら周囲と交流できるようにかかわる。
  - ・一人ひとりの利用者向き合い、ゆったりと話を聞くことで信頼関係を構築する。
  - ・ひろばの様子や利用者の状況をスタッフ間で共有し、継続した支援ができるようにする。
  - ・利用者同士の交流が活発になるよう、スタッフが輪に入りながら自然と繋がるように促す。
- ◆イベントと利用者のつながり…利用者同士や地域とつながるきっかけとなるイベントを開催する。
  - ・2～3歳児親子の交流の場「わんぱくあそび」の内容を工夫し、同年齢の子ども同士のあそびを積極的に楽しみ、また親同士のつながりができる場となるようする。
  - ・利用者主体イベント(フリマ・遠足)の企画を通して、利用者同士が支え合ったり、役立ち感を感じられるように、サポートしていく。また、OB ママとの座談会を昨年度から引き続き継続し、縦のつながりづくり、利用者 OB とひろばとの継続したつながりを作っていく。
- ◆地域とのつながり…利用者が地域を身近に感じられるイベントを開催し、交流を深めていく。
  - ・シオンの丘訪問（子どもの日、敬老の日、ハーモニカ演奏会参加予定）
  - ・ふれあいお茶会 年2回継続。（地域の方、ひろばOB を招待して開催）
  - ・保健師さんと座談会 年1回 ・4か月児相談訪問 毎月
  - ・地域の施設や店舗へ通信設置・ポスター掲示協力を通して交流し、ひろばの広報に努める。

<p>①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会 月1回 ・プレママ&amp;ねんねの会 月2回（午前・午後）・わんぱくあそび 月1回</li> <li>・ツイズデー月1回 ・土曜ひろば月1回 ・遠足 年1回 ・お茶会 年2回</li> <li>・シオンの丘デイサービス訪問 5月、9月 他随時 ・わははdeフリママ 年1回</li> </ul> <p>ひろばにきた親子が孤立せず心地よく過ごせるようにスタッフが配慮し、他の親子と十分交流できるようにする。同じ月齢の子どもをもつ親同士や多胎児の親同士が集まるイベントを企画し、ひろばを通して出会い、交流が深まるきっかけとなるようにする。休日に開館日を設け、父親が参加しやすい環境を作る。近隣の高齢者施設との交流・地域の方を招いて、利用親子が地域を身近に感じながら温かい交流ができる機会を作る。</p>
<p>②子育て等に関する相談・援助の実施</p>	<p>ひろば内での相談、必要に応じて個別相談ができるように配慮する。</p> <p>スタッフは、当事者の目線で一緒に子育てを考え、寄り添う姿勢を大切にしながら、必要な情報を提供し、状況に応じて地域子育て支援コーディネーターと連携をとり専門機関を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレママ&amp;ねんねの会・ツイズデー・子育て座談会（臨床発達心理士参加）</li> <li>・保健師さんと座談会・子どもの育ち座談会（こだま学園）</li> </ul> <p>【連携機関】 こだま学園、勝賀保健ステーション、地域子育て支援コーディネーター</p>
<p>③地域の子育て関連情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろばに情報コーナーを設置し、市役所、コミュニティーセンターなどから得た子育て情報をいつでも見られるように整理・配置しておく。</li> <li>・最新の幼稚園・保育所・子ども園・あそび場、サークル、子育て支援拠点の情報をわかりやすく整理する。</li> <li>・子育てに関する新聞記事、イベント・講座などの情報を掲示する。</li> <li>・クチコミ情報掲示板や地域情報マップで自由に情報交換ができるようにする。</li> <li>・わはは・ひろば専用サイトの運営。その他、本体NPOで収集した情報を携帯メール、インターネット、情報誌等で提供する。</li> </ul>
<p>④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講座 ・乳幼児のための救急救命講習 ・子育て座談会 ・絵本の読み聞かせ・ふれあい遊び（毎日）・おもちゃの話 ・保健師さんと座談会 ・ツイズデー・プレママ&amp;ねんねの会</li> <li>・幼稚園座談会・新生活準備座談会(利用者OB参加)</li> </ul> <p>親子または保護者が様々な講習や座談会に参加できる機会を設け、子育ての悩みの軽減につなげたり、同じ立場や同年代の子どもをもつ人と交流をしたりできるようにする。</p>

【たかまつ地域子育て支援拠点コーディネーター事業】

目標： 関係機関との役割を明確にした支援を行う。

妊娠期からの支援となるよう産婦人科への広報・母子保健コーディネーターと連携を行う

【取組方法】

- ◆定期訪問先でのスタッフとのミーティングやケース会議をもち役割分担を明確にし、利用者にあった支援につなげる。
- ◆HP での情報提供。月1度の「コーディネーターの日」と同様の内容を掲載し、子育て情報もアップする。
- ◆コミュニティセンターのサークルに出向き、周知する。
- ◆エリア内の産婦人科に通信を配布し、妊娠期からのひろば利用につながるようにする。

必須事業	① 利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談、予約による来所相談を受け付ける。</li> <li>・担当エリアの地域子育て全支援拠点出向き利用者からの相談を受け付ける。</li> <li>・担当地域のコミュニティセンターで開催されている育児サークルに出向き、参加者からの相談を受ける。(栗林・二番丁)</li> <li>・幼稚園13か所、保育所(園)21か所、こども園3か所、地域子育て支援拠点8か所、子育て支援に関する施設や事業や、医療・保健など、隣接する他領域の事業、地域のインフォーマルな取り組みも含め、地域で子育て支援に関わる関係機関に訪問し、訪問シートに情報を記載。市内全域の情報については利用者支援を担当する他3拠点とそれぞれの情報を共有して把握。</li> </ul>
	② 教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくりを行うとともに、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域で必要な社会資源の開発等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当地域の幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点等に出向き、現状や連携について確認する。</li> <li>・利用相談や幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点等の訪問で出た課題について、高松市地域子育て支援コーディネーター事業を担当する4拠点と高松市との連絡会で共有する。</li> <li>・担当地域の保健センターの乳児健診に出向き、保健師と顔の見える関係の構築に努める。</li> <li>・定期訪問先の地域子育て支援拠点にて個別支援についてのミーティングを行い、連携し継続支援を行う。</li> <li>・定期的に担当エリアを中心に訪問し日常的に関係を構築するように努める。</li> </ul>
	③ 本事業の実施に当たり、リーフレットその他の広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、広くサービス利用者に周知に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4拠点合同のリーフレットを作成、市内で配布。</li> <li>・香川県内に無料配布されている子育て情報誌「おやこDEわはは」、わははメール、わははひろば高松通信にて子育て支援コーディネーターについて掲載。</li> <li>・担当エリア子育て支援拠点にて「コーディネーターの日」を開催し、コーディネーター事業や新制度について利用者へ情報提供を行う。</li> <li>・わははネットHPにてコーディネーター事業の周知を行う。</li> <li>・サークルの活動内容についての提案・相談・関係機関との調整を行う。</li> <li>・担当エリア内の、4ヶ月児相談・1歳6か月児健診に出向き事業説明を行う。</li> </ul>
	④ その他事業を円滑にするための必要な諸業務に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、4拠点が主催の、連絡会を開催。</li> <li>・4拠点合同で研修会を行う。研修会の講師に地域の関係機関の実務者を迎え、顔の見える関係を構築する。</li> <li>・スーパーバイザーを迎え、事例検討会、拠点でのスーパーバイズを行う。</li> </ul>

## 【まるっ子ひろば】

指定管理事業「まるっ子ひろば」（さかいで子育て支援センター）

目標：

### ①安心・安全の確保（安心して生み育て、健やかに守られて育つ環境）

28年度に引き続き、館全体での避難訓練を実施して、不測の事態に備えた体制づくりを行っていく。これに加え29年度は、子どもが健やかに守られて育つ環境としてのひろばづくりに力を入れる。

### ②利用者の視点（子ども・保護者・地域）にたった運営

発達的に難しさのある子どもが楽しめる療育プログラム（わくわくひろば）を実施し、子どもの発達支援を行うとともに、保護者同士のつながりの場を提供することを目指す。

### ③連携機能の強化（妊娠期から切れ目ない支援実施のため各所と連携）

さかいで子育てフェスティバル実行委員会を通して地域団体との連携を深め、気心しれた関係づくりを行っていく。わくわくひろばを実施するに当たり、地域の教育・保育関連機関に協力を仰ぎ、地域全体で子どもの発達を見守る体制づくりを行っていく。

### ④民間ならではの柔軟で機動性のある運営

各職員が自分の担当業務を行うだけでなく、館の事業全体を把握して、「自分たちの家」という感覚で館の運営に携われるように、スタッフ間の関係づくりを意識して行う。

## ◎事業計画

① センターの管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心の確保：安全点検、火災・地震避難訓練の実施。不審者対策の実施。</li> <li>・利用規約の徹底：決まりだから守るのではなく、みんなが気持ちよく使えるようお互いに気遣い合える利用者同士の関係づくりを心がける。</li> <li>・掃除・整理・整頓の徹底</li> <li>・利用者の声が聞ける対策：年2回のアンケート実施。</li> <li>・利用者の登録・管理：「子育て施設受付システムこころひろまるくん」によって利用者情報を管理する一方、緊急時の持ち出し名簿として手書きの利用者名簿も並行して作成・管理する。</li> </ul>
② さかいで子育てフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会を通して地域団体の交流を深める。</li> <li>・昨年度の反省を活かした内容にし、昨年度よりもさらに地域の人が参加しやすいイベントにする。</li> </ul>
③ ネットワーク・研修等事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さかいで子育てネットワーク会議（さかいで子育てフェスティバル実行委員会）開催。</li> <li>・まるっ子リサイクルデー実施（6月、11月）。</li> <li>・まるっ子ひろばHP、FaceBookでの情報発信。</li> </ul>
④ 療育プログラムわくわくひろば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通して言葉や身体機能などの発達に遅れの見られる子どもの療育を行う。</li> <li>・保健師、総合病院回生病院、保健センターかもめ教室、障害をもつ子の親の会等と連携し、協力を得て、プログラムの内容を決定する。</li> </ul>

## 2. 「まるっ子ひろば」地域子育て支援拠点

目標：「私たちのひろば」を作る

### ◎事業計画

- ◆イベント…初めての人が来やすくなるイベントの実施だけでなく、「毎日来て楽しい、明日も来たい」と思える遊び・活動を取り入れる。
  - ・植物苗の植え付け・水やり・収穫体験を実施。
  - ・風船・新聞・トンネル・バルーン等、高い月齢の子どもが十分に体を動かして楽しめる遊びを取り入れる。
  - ・大人向け講座（コミュニケーション・ワーク）を実施する。（子どもはなかま保育で見ることが検討。）
  - ・親子ヨガの実施。
- ◆情報提供…親も子も楽しんでいる様子を発信していく。
  - ・アナログツイッター、口コミ掲示板等を活用し、利用者同士がつながりやすい情報提示の仕方を工夫する。
  - ・HPでスタッフのことが、よりわかるような情報を提供する。
  - ・写真の撮り方を工夫し、親も子も楽しんでいる様子を伝える。
- ◆スタッフのかかわり…誰でも来れるひろばを意識し、スタッフで連携を図る。
  - ・毎日の振り返りとは別に週1回ミーティングを行い、スタッフの動きを見直す時間を取る。
  - ・どのスタッフも利用者の状況を見取ることができるようにする。
  - ・場面に合わせた動きを確認・共有する。
- ◆地域連携…祖父母、地域の方との交流をおこなう。
  - ・地域を歩いてみて、地域にどのような人がいるのかを知る。

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食時間を設け、食事を共にすることで交流を促進する。</li> <li>・ひとり親*多胎児*妊婦*父親*祖父母等様々な利用者を温かく迎え入れ、利用を促進する。</li> <li>・まるっ子リサイクルの収益を利用してプチトマトやきゅうりの苗等を購入し、植え付け・水やり・収穫体験を行う。</li> <li>・はじめての人も来やすい（来館動機づけ）プログラム～様々なニーズに対応したプログラムの提供</li> </ul> <p>【プログラム】誕生会、赤ちゃんひろば、ツインズデー、防災デー、季節遊び、音楽ひろば、大型絵本の日、屋外ひろばでのピクニック、発達のママ知識講座、ママ企画プログラム等</p>
②子育て等に関する相談・援助の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の困り事を気軽に話せるような利用者スタッフの関係づくりを意識して行う。</li> <li>・必要に応じて様々な機関、特に地域利用者支援事業と連携する。</li> </ul>
③地域の子育て関連情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報コーナーを設置し、公的情報のみならずインフォーマルな子育て情報も提供する。また子育てに限らず生活情報として必要な情報を提供する。</li> <li>・最新の幼稚園、保育所、遊び場などを分かりやすくファイルに整理し、見やすく提供する。</li> <li>・子育てに関する新聞記事や講座などの資料を掲示する。</li> <li>・わははひろば専用サイトの運営。その他、本体NPOで収集した情報を携帯メール、インターネット、情報誌「おやこDE わはは」、Facebook等で提供する。</li> </ul>
④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家（発達・医療・防災・子どもの遊び等）を招いて日常では聞けない講座等を開催（防災デー、保健師座談会、発達のママ知識講座、助産師育児講座、栄養士食育講座）</li> </ul> <p>【地域連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小学校・中学校の職場体験、看護学校等の実習受け入れ。</li> <li>・地域の行事、イベントに参加。</li> </ul>

### 3. さかいで地域子育て支援コーディネーター事業

目標：地域子育て支援拠点での利用者からの相談を受ける

- ・ひろばスタッフが利用者親子の様子に気づき、コーディネーターに報告できるようにする。

<p>① 利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、地域の教育・保育、子育て支援事業等を円滑に利用できるよう実施に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・電話相談、予約による来所相談を受け付ける。</li><li>・幼稚園12か所、保育所(園)13か所、地域子育て支援拠点3か所、認可外施設1か所をはじめ、子育て支援に関する施設・事業、医療・保健機関など、地域で子育て支援に関わる関係機関に訪問し、訪問シートに情報を記載する。</li><li>・ひろばに来所する子どもの中で支援が必要な子どもを療育プログラム「わくわくひろば」に誘い、早期療育につなげる。</li></ul>
<p>② 教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくりを行うとともに、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域で必要な社会資源の開発等に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て関係機関（保育所・幼稚園・サークル・保健センター等）への訪問挨拶・情報収集をする。</li><li>・市内の幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点等に出向き、現状や連携について確認する。</li><li>・3.4ヵ月健診に出向き、保健師と顔の見える関係の構築に努める。</li><li>・「ママの働き方講座」開催。</li><li>・ダブルケア・カフェ実施。</li><li>・高齢者と地域の交流の場の提供。</li></ul>
<p>③ 本事業の実施に当たり、リーフレットその他の広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、広くサービス利用者に周知に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・香川県内に無料配布されている子育て情報誌「おやこDEわはは」、わははメール、まろっ子通信に子育て支援コーディネーターについて掲載する。</li><li>・HPで子育て支援コーディネーター事業について説明する。</li></ul>
<p>④ その他事業を円滑にするための必要な諸業務に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て支援員研修(利用者支援基本型)を受講する。</li></ul>

#### 4. 「まろっ子ひろば」一時預かり

目標：利用者のニーズを満たす一時預かりの実施

- ・利用者の意見を反映させて利用しやすい一時預かりの制度をつくる。

① 利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて一時預かりのしおり記載内容及び保育内容を見直す。

- ・地域子育て支援拠点利用者の普段の様子から、必要と思われる親子に対して一時預かり事業を積極的に紹介する。
- ・一時預かり利用者に利用後の意見徴収を行い、保育内容の見直しを行う。
- ・一時預かりを利用しにくいという利用者からの意見徴収を行い、一時預かりの仕組みを見直す。

② 一時預かり事業の広報を積極的に行う。

- ・「まろっ子ひろば」利用者のみならず、地域の子育て家庭のニーズを満たすために、一時預かり事業の広報を行う（HP、まろっ子ひろば通信、坂出市広報等）。
- ・利用者支援事業において、一時預かりが必要と思われる親子に対し、事業の利用を勧める。

③ 事業を円滑に進めるためのスタッフの配置及び勤務体制に関すること。

- ・一時預かり担当者とは他スタッフとの連携を進めるために、各事業の状況を積極的に報告し合い、一時預かりも「まろっ子ひろば」の一部であるという意識づくりを行う。
- ・少ない人数のスタッフで一時預かり事業を円滑に進めるために、ひろば開館時にはひろばを活用し、ひろばスタッフが一時預かり保育を手伝えるような体制をつくる。